



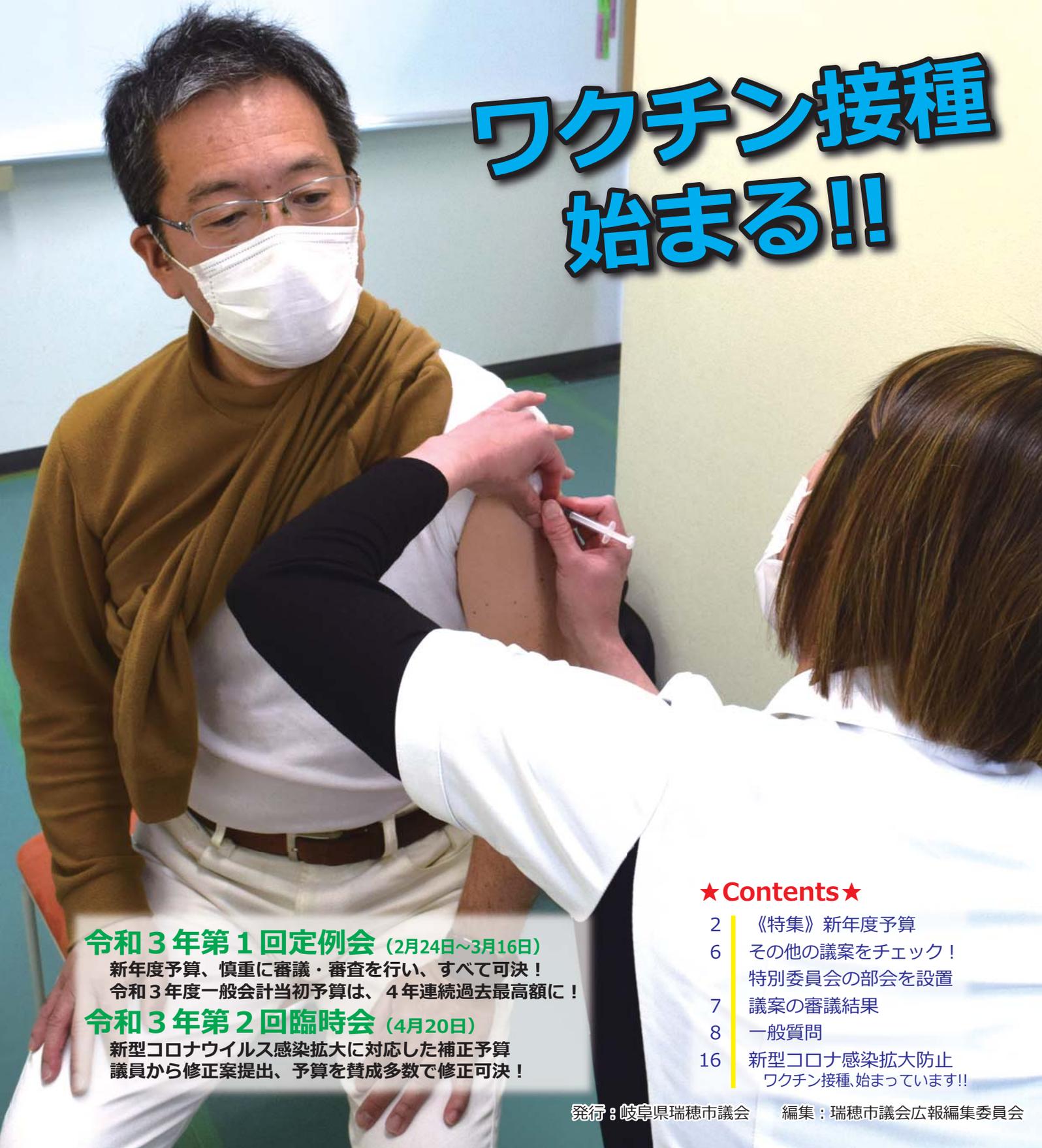
みずほ

No. 72

令和3年6月1日

市議会だより

ワクチン接種 始まる!!



令和3年第1回定例会 (2月24日~3月16日)

新年度予算、慎重に審議・審査を行い、すべて可決！
令和3年度一般会計当初予算は、4年連続過去最高額に！

令和3年第2回臨時会 (4月20日)

新型コロナウイルス感染拡大に対応した補正予算
議員から修正案提出、予算を賛成多数で修正可決！

★Contents★

- 2 《特集》新年度予算
- 6 その他の議案をチェック！
特別委員会の部会を設置
- 7 議案の審議結果
- 8 一般質問
- 16 新型コロナ感染拡大防止
ワクチン接種、始まっています!!

柳一色橋
歩道橋の併設工事
松野藤四郎 議員



大月多目的広場
芝生・遊具の整備
若園五朗 議員



下水道事業会計
固定資産購入費
広瀬武雄 議員



1人1台タブレット
GIGAスクール構想
棚橋敏明 議員



市の玄関口
駅前対策事業
今木啓一郎 議員



みずほの魅力に！
大月多目的広場
馬淵ひろし 議員



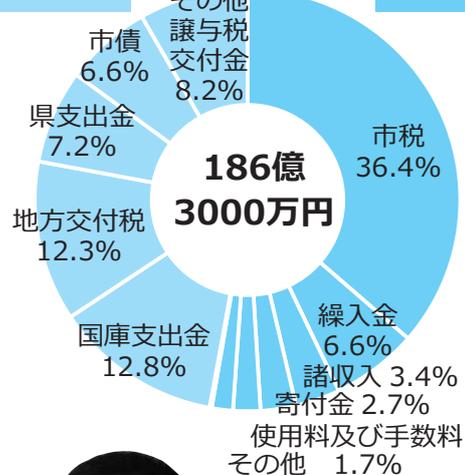
犀川遊水地
グリーン
インフラ事業
森健治 議員



※金額は万円未満切捨

一般会計	186億3000万円
国民健康保険事業	44億6745万円
後期高齢者医療事業	5億8774万円
農業集落排水事業	2591万円
水道事業	10億1623万円
下水道事業	6億7277万円

依存財源 自主財源



一般会計歳入予算

27億円見込む
穂積駅南整備は？
広瀬守克 議員



犀川遊水地
グリーンインフラ
藤橋直樹 議員



防災備蓄事業
災害時の備えは？
北川静男 議員



私が注目した予算は!!

穂積駅拠点化事業・
下水道の推進

庄田昭人 議長



保育所整備の
早期実現へ

藤橋礼治 議員



水辺の
賑わい創出
グリーンインフラ

若井千尋 副議長



令和3年度 当初予算

まちの
発展の礎は
インフラ整備

杉原克巳 議員



未来に向けた
公共下水道

松野貴志 議員



急がれる
河川改修事業

森清一 議員



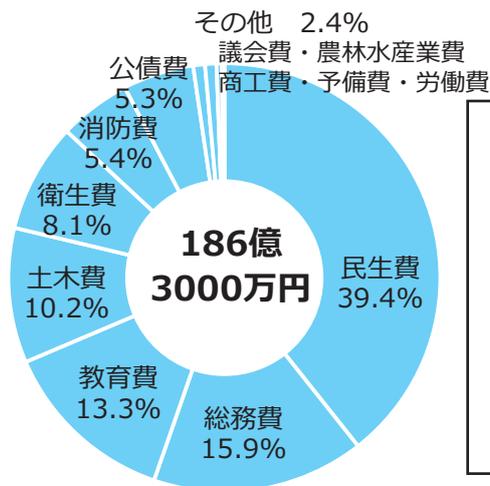
グリーンインフラ
事業大丈夫？

関谷守彦 議員



人の傷みがわかり
人に尽くす予算

若原達夫 議員



一般会計歳出予算

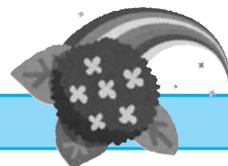
予算を審議・審査しました!!

描けるまち “へつながる予算に…”

教育・子育て



財政



保育所

- Q 市内保育所を民営化する予定は。
A 保育料の無償化もあり、今後も保育施設を利用したいという需要は高まると考えている。引き続き公私連携または保育事業の推進はしていきたい。小規模保育施設については、令和3年度中に、民間の新設予定が1件あり、支援をしていく。

予算の財源確保

- Q 瑞穂市独自の財源を確保していかなければならないと思うが、どのように考えているか。
A ふるさと応援寄付金の新たな記念品の追加、また企業版のふるさと応援寄付金について、現在、県と協議している。さらに、公共施設を利用した広告事業についても検討しているところである。

放課後児童クラブ

- Q 放課後児童クラブの今後の見通しは。
A 受入体制の現状は、公設公営では各小学校区に1箇所ずつ開設しており、民設民営では令和2年4月から『学習館みずほ』が運営を開始された。利用を希望される児童全てを受け入れることができるよう、タクシーによる送り届けや、民間事業者への補助を継続していきたい。

福祉・健康



「子ども支援課」新設

- Q 新しく設置される「子ども支援課」についての事業内容は。
A 妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援体制で関わっていく「子育て世代包括支援センター（母子保健型）事業」、また、児童虐待防止や支援の必要なご家庭への対策を目的に、相談員等を設置する「子ども家庭総合支援拠点事業」は、子ども支援課の事業になる。
これまで、「子育て世代包括支援センター（母子保健型）事業」は健康推進課で、「家庭児童相談室」は福祉生活課で設けていたが、今後は、子ども支援課の中で、一連の子育て支援を行っていくことになる。

防災・環境



防犯カメラ設置事業

- Q 防犯カメラ設置事業の令和3年度の設置場所は。
A 令和3年度は、彦内公園、天侍公園、せせらぎ公園、井場公園、清流みどりの丘公園の5箇所に設置する。

空き家対策

- Q 今後の空き家対策についての方向性は。
A 令和3年度では、適正に管理されていない空き家のうち、『空家等対策の推進に関する特別措置法』に基づいたガイドラインにより、特定空家等の指定に向け、候補と見込まれる対象家屋の調査を進めていく予定である。特定空家等に指定されたもののうち、所有者等が建物を取り壊した際には、取り壊し撤去費用に要する費用の一部を補助する制度を新たに設けたい。

新型コロナウイルス感染症対策

- Q 当初予算で事業化されていない理由は。
A 当市は、これまで国の補正予算に盛り込まれた地方創生臨時交付金で対応している。今年1月末に国の第3次補正予算の成立を受け、当市もおおよそ2億円弱の地方創生臨時交付金が示されている。この地方創生臨時交付金については、新年度予算の補正で対応させていただきたい。



一般会計・特別会計・企業会計

令和3年度 予算

3月議会で新年度

“誰もが未来を

まちづくり



グリーンインフラ事業

Q (仮称) 犀川遊水地グリーンインフラ事業は、将来的に財政負担にならないか。

A 犀川遊水地周辺には、自然、水辺、史跡、スポーツの豊かな環境が集まっている。この地域の資源を最大限活用し、水辺空間の魅力を生かす基本構想を令和3年度に検討する。国や県からの支援を視野に入れ、地域の方や関係機関と相談しながら策定へ入りたい。

中山道大月多目的広場

Q (仮称) 中山道大月多目的広場の整備の予算の中に、借り上げ料が計上されているが、現在の状況は。

A 敷地のうち、5筆がまだ借地という形である。この土地については、売っていただけるよう交渉を行い、努力していきたい。

JR 穂積駅周辺整備

Q JR穂積駅周辺整備事業は、どのくらいの規模をイメージして取り組んでいるのか。

A 地元の検討委員会を経て、穂積駅北側は、土地区画整理事業を進めていきたいと考えている。また、南側については、既存の道路や令和2年度に取得したJAぎふ穂積支店の土地を活用し、早期に事業効果を発揮できるようなものを考えている。

自治会活動

Q 自治会活動事業費の大幅な予算増額の理由は。

A 自治会活動振興交付金は、申請がある自治会に交付し、人が集まる活動などに活用していただいている。前年度より大幅に増額したのは、敬老事業や防災訓練等に対する交付金を、令和3年度から自治会活動振興交付金の中に含めたため、自治会活動の幅を広げることや自治会長の補助金申請手続きの負担を減らす目的である。

新庁舎建設

Q 新庁舎基本計画等策定支援業務委託料が計上されているが、どのような内容になっているのか。また、市民の声をどのように反映させるのか。

A 現在、新庁舎建設基本構想に挙がっている候補地や防災対策を鑑みて、高台など具体的な建設場所を検討している。また、市民の意見の聴取は、検討委員会等で市民に参加していただき、集約することを考えている。

公共下水道事業

Q 下水道(瑞穂処理区)の終末処理場用地の地権者は、全体で何名何筆か。また、同意を得ているのは何名か。

A 令和2年末に全ての地権者と用地の境界立ち合いを行った。該当者は20名、該当の筆は44筆で、2名5筆が未確実な状況だが、理解を得られるよう努力していく。



瑞穂市下水道事業会計予算に対する

付帯決議

「議案第21号 令和3年度瑞穂市下水道事業会計予算」は、採決結果、賛成多数で可決としましたが、議員が付帯決議案を提出し、全会一致で可決しました。

【要旨】

下水処理場建設用地の土地取得については、下水道事業計画の執行に当たり重要な事柄である。しかし、市民の下水道計画に対する理解の醸成、合意形成が十分であるとは言えない。予算執行に当たっては、「瑞穂市まちづくり基本条例に則り、市民に瑞穂市公共下水道事業全体計画を十分に説明し、市民合意を図ることに鋭意努めること」に十分留意されるよう強く要望する。

修正
可決

議案第27号
一般会計
補正予算

PCR検査費用助成金200万円
補正予算案から削除

第2回臨時会では、議案第27号令和3年度瑞穂市一般会計補正予算（第1号）に対して、修正案が提出されました。

修正内容

「PCR検査費用助成金」として計上されていた200万円を削除

提案理由

5月から65歳以上の高齢者を対象に、コロナワクチンの集団・個別接種が行われる。このPCR検査費用助成事業を行うことで、陽性の疑いがある方がPCR検査を受けるために個人医院へ来院することによって、ワクチン接種のために来院した高齢者の方に接触感染等により感染する可能性がある。変異株も広がり、第4波が懸念されるこの時期は避け、適正な時期を探り、実施することが望ましいと考える。

この修正案に対し、「ワクチンの供給状況が不透明である中、PCR検査も同時に行う必要もあるので」との反対討論もありましたが、採決の結果、修正案は賛成多数で可決されました。

可決された補正予算の主な内容

瑞穂市中小企業・小規模事業者活性化補助事業

中小企業・小規模事業者を幅広くサポートします！



瑞穂市商工会と連携し、経済対策として、持続的な経営と事業の発展、市内の経済活性化のため、中小企業・小規模事業者を人的・資金面で支援します。

その他

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 | 高齢者タクシー助成事業 |
| 県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金負担金 | 介護予防把握事業 |
| 庁舎・コミセン・生涯学習施設の検温装置購入費 | 雇用調整助成金上乗せ助成事業 |
| メディアを活用した新型コロナウイルス対策プロモーション事業 | など |

議会基本条例推進特別委員会
2つの部会を設置しました!!

研修・予算決算検討部会

目的

- ①議会基本条例第18条に規定する議員研修の充実強化を図ること
- ②議会基本条例第9条に規定する予算及び決算の審議等のあり方を検討すること

構成員

- | | | |
|-----|--------|-------|
| 部長 | 杉原 克巳 | 棚橋 敏明 |
| 副部長 | 森 清一 | 森 健治 |
| | 藤橋 礼治 | 関谷 守彦 |
| | 松野 藤四郎 | 北川 静男 |

意見交換・情報発信検討部会

目的

- ①議会基本条例第5条第7項に規定する意見交換会の具体的な運営方法を検討すること
- ②議会基本条例第19条第2項に規定する情報技術の発達を踏まえた多様な広報手段の活用策を検討すること

構成員

- | | | |
|-----|--------|-------|
| 部長 | 馬淵 ひろし | 若原 達夫 |
| 副部長 | 広瀬 武雄 | 藤橋 直樹 |
| | 今木 啓一郎 | 守克 |
| | 松野 貴志 | |

令和3年第1回定例会 議案の審議結果

議案名等	議員名(会派別) (◎は会派代表者)	議決結果											議決月日								
		新生クラブ	無所属の会					立	公	朱	み	共									
		庄田昭人	◎若園五朗	藤橋礼治	広瀬武雄	今木啓一郎	松野貴志	馬淵ひろし	◎森清一	森健治	北川静男	若原達夫	藤橋直樹	広瀬守克	◎松野藤四郎	◎若井千尋	◎棚橋敏明	◎杉原克巳	◎関谷守彦		
提出委員 案第1号	議案第1号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16	
提出委員 案第2号	議案第21号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16	
市長提出 議案	議案第2号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2/24	
	議案第3号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	3/16	
	議案第4号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	3/16	
	議案第5号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16	
	議案第6号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16	
	議案第7号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第8号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第9号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第10号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第11号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第12号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第13号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第14号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第15号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第16号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	3/16	
	議案第17号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第18号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第19号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第20号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
	議案第21号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	3/16
議案第22号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16	
議案第23号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16	
議案第24号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16	
議案第25号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16	
議案第26号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16	

令和3年第2回臨時会 議案の審議結果

議案名等	議員名(会派別) (◎は会派代表者)	議決結果											議決月日							
		新生クラブ	無所属の会					立	公	朱	み	共								
		庄田昭人	◎若園五朗	藤橋礼治	広瀬武雄	今木啓一郎	松野貴志	馬淵ひろし	◎森清一	森健治	北川静男	若原達夫	藤橋直樹	広瀬守克	◎松野藤四郎	◎若井千尋	◎棚橋敏明	◎杉原克巳	◎関谷守彦	
提出委員 案第3号	議案第27号	可	-	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	4/20	
市長提出 議案	承認第1号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/20
	承認第2号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/20
	議案第27号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	4/20
	議案第28号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/20
	議案第29号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/20
議案第30号	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4/20

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、棄…棄権、除…除斥、立…立憲民主党、公…公明党、朱…朱鷺の会、み…みずほ令和の会、共…日本共産党
議長は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。(議長 庄田昭人)



公共下水道事業の第1期事業計画範囲の接続意向調査を行うか



環境水道部長

近年開発された区域については、合併浄化槽が入っているため、接続の意向を聞く



馬淵ひろし議員

Q 計画の水洗化率の根拠は。

A 財政シミュレーションでの水洗化率の設定は、西処理区と別府処理区加重平均値を用いている。

(環境水道部長)

Q 水洗化率が計画より下回る場合は。

A 単純計算では、減った分の使用料金が一般会計繰入金金の増加分につながる。しかし、想定より低いということは、処理水量が少ないということから、水処理施設の増設を後に延ばすことになるので、当初予定の建設費が発生せず、その部分の繰り入れは減少することになる。

(環境水道部長)

Q 第1期事業計画範囲の接続意向調査を行うか

A 実施することは考えていない。しかし、牛牧団地西側など近年開発された区域については、接続の意向を聞き、管路工事の有無などを判断して必要であれば接続に向けて管を延ばす。

(環境水道部長)

Q 市長が財政的に問題ないと判断したデータは。

A 一つは、財政計画における一般会計からの繰出金が経常収支比率にどう影響するかを試算した結果、今後、税収などの

一般財源と経常的な経費を平成30年度並みに維持していけば、財政運営上十分耐え得る数値になると検証した。二つ目は、実質公債比率にどう影響するかを試算した結果、平成30年度の標準財政規模を維持していけば、十分耐え得る数値になると検証した。(総務部長)



▶瑞穂市下水道の現状 (産業建設委員会資料より)



令和3年度(仮称)中山道大月多目的広場の整備事業は



教育次長

にぎわいの創出につながるような広場になるよう整備を進める



若園五朗議員

Q 令和3年度は工事の最終年度であるが、工事の進捗状況と令和4年度の広場運営と維持管理は。

A 令和3年度末の完成に向けて整備を行っている。広場運営は、周辺施設を一带として市外からも誘客できるように活用方法や、スポーツイベントや朝市・マルシェ等の各種イベントを定期的開催できないか考えている。維持管理は、委託による面的整備、補完的な管理としてアダプトプログラム事業の活用を考えている。(教育次長)

Q 令和3年度は工事の最終年度であるが、工事の進捗状況と令和4年度の広場運営と維持管理は。

設置位置を決定していく手順は。

A 基本構想では、穂積駅周辺、東南庁舎周辺、旭化成周辺の3つの大きなゾーンを候補地区としているが、一つのたたき台として策定している。今後は、市民や専門家らによる外部の検討委員会を設置し、その委員会からの答申をもって庁舎の建設位置を決めていきたい。(総務部長)

安心安全なまちづくり
Q 西・中地区の農業振興地域内の農業生産者施設、農家住宅と新たな自己用住宅、企業誘致への土地利用の見直し基準は。

A 現在ある瑞穂市農振除外適合基準に、西・中小学校区の人口減少による「地域コミュニティの維持」・「地域活力の向上」を図るため既存集落周辺の一部区域に自己用住宅と、十七条地内にある工業導入地区の一部区域に工場等の建築を可能とする2項目を新たに追加した。

(都市整備部長)



▲(仮称)中山道大月多目的広場の整備が進んでいる大月地内

瑞穂市新庁舎建設
Q 候補地はどこに想定しているのか。また、建



小学校で新学習指導要領が全面実施となったが、その対応は



教育長

英語教育推進委員会を組織し、「瑞穂市小・中学校CAN-DOリスト」を作成した



今木啓一郎議員

Q まずまず重要度が増す「外国語教育」について今後の取り組みは。

A 令和4年度から、市内全小学校において、1年生から外国語活動を本格的に始める準備をしている。国の教材は3年生以上であるが、1、2年生の教材や年間指導計画等は、生津小の方でほぼ作成できている。これを基に研修を深め、準備に入りたい。（教育長）

公園等整備

Q 近年整備された都市公園は、遊具も限られ平坦で画一的なものに思える。障がいのある子どもも一緒に遊べる遊具また、ストレッチ等心身の健康維持を目的とする大人向け健康遊具設置の考えは。

A 現在整備中の（仮称）中山道大月多目的広場の児童用大型遊具に、車椅子でも滑らかに上り下りができるスロープを設置するなど、使い勝手のよい遊具を備え付ける予定である。既存公園等

のリニューアル時には、時代に応じたバリアフリー化、ユニバーサルデザイン等の設置についての検討を進めたいと考えている。（都市整備部長）



●健康遊具（大垣市 楽田ふれあい公園）

JR穂積駅周辺整備ソフト事業
Q JAぎふ穂積支店の土地取得後のソフト面の土地利用は。

A ワイワイ会議の中で、昭和時代の穂積駅前で実施されていた汽車まつりを復活させたいという意見があった。解体後の更地の空間を、安全を確保しながら、昔の郷愁的な汽車まつりのような夜市ができればと考えている。（企画部長）



（仮称）犀川遊水地グリーンインフラ事業は



調整監

瑞穂市が目指す将来像の一端を担う事業となる



森 健治議員

Q 事業の概要は。

A 犀川遊水地周辺の特性である自然、水辺、史跡、スポーツなど豊かな環境が育んだ地域資源を最大限活用したい。コロナ時代の生活様式に対応したレクリエーションや環境学習の場を提供することで、新たな賑わいが創出され、関係人口が見込まれ、地方創生の拠点となると考えている。（調整監）

Q 新年度予算では、どのようなことを考えているのか。今後のスケジュールは。

A 対象予定地となる一帯の分析評価、問題点の抽出、整備コンセプトの設定、基本方針の検討を行い、基本構想を取りまとめる予定である。4年度には、基本構想を踏まえて「かわまちづくり計画」を策定し、5年度に国へ登録を申請し、事業化を目指す。（調整監）
Q 2040年問題とされる少子高齢化対策として、この犀川遊水地を拠点に位置付けた考えは。

A 牛牧閘門、清流みどりの丘公園、さい川さくら公園、整備予定のアクアパークみずほなど、自然や水辺、歴史、スポーツが融合した地域である。また、市と防災協定を締結したスパーがある。また、防災機能が充実した地域でもある。さらに、下畑と穂南地区を繋ぐ犀川ふれあい橋の整備で、牛牧小学校区の児童の登下校の安全や高齢者の買い物等の利便性も一段と期待される。地域の労働力の中心を担う若者の流出に歯止めをかけるため、子どもたちに地域の魅力、歴史的な財産を十分に伝えて、誇りに思える地域づくりを進め、地方創生の拠点と位置付けたい。（調整監）





新庁舎建設において「市の中心部で高台」の真意を



総務部長

千年に一度と言われる災害に耐え得る意味で考えたものである



北川静男議員

Q 市の中心部とは人口重心か面積中心か。

A 新庁舎の建設位置としてふさわしい場所を考える中で、非常にコンパクトな当市にとつては地理的な中心に設けることが適当と考える。

Q 庁舎建設の手法は。

A 設計、建設、維持管理費など民間へ発注する部分をトータルで考える中で、従来より費用面で有利であれば、PFI方式等の建設手法を今後も探っていく。

(総務部長)

Q 新庁舎供用開始になるまでの現庁舎の建物・設備の修繕費用は。新庁舎建設の前倒しはあるのか。

A 平成28年度に策定した瑞穂市庁舎将来構想では、令和14年度までの改修に要する費用は、3億4千万円と見込んでいる。構想では、庁舎建設費用を約40億と仮定し、現在基金残高は8億円である。PFI方式等で市の歳出が少なく建設する



ことができれば、庁舎建設の前倒しは可能と考える。

(総務部長)

Q 国土強靱化計画

Q 床上浸水した場合の避難所は。

A 全ての市民を避難所に収容することができない。市民は、自らの命は自らを守る意識を持ち、行政は、適切な避難行動を取れるよう支援していく。垂直避難や分散避難を周知していきたい。

(企画部長)

Q 南小学校西の土地を活用して防災コミュニティセンターを建設しては。

A 未利用地と学校施設を一体的に捉え、今後具体的に整備を検討していくことになっており、防災機能も併せ持った施設が検討できればと考える。

(企画部長)



犀川遊水地の賑わい創出政策「グリーンインフラ」事業への思いは



都市整備部長

犀川遊水地を中心とした賑わいの創出とその関係人口の増加で、瑞穂市の発展を期待



若井千尋議員

Q 国交省推進のグリーンインフラ事業とは。

A 豊かで活力のある地方の形成と多角連携型の国づくりとして、グリーンインフラを通じた都市防災機能の強化や快適な生活環境の構築等を図るとともに、地域の歴史、景観などの地域資源を活用し、安全で魅力あるまちづくりを推進されている。

(調整監)

瑞穂市合併20周年に向けての構想

Q 令和5年市政20周年の節目の事業構想は。

A 前年の令和4年から事業が実施できるよう、令和3年度から体制を整えていきたい。市民が参画しやすい、またふるさと瑞穂市に愛着が持てるような事業を計画していく予定である。

(企画部長)

Q 親しまれるまちづくりとして、市道ネーミングを公募で試みては。

A また、市内河川の堤防を健康促進ロードとして整備する考えは。

A 既存道路の遊歩道を

▶ 柿ばすた



ウォーキングができるように軽微な整備とともに愛称を募集して、市民の皆さんに親しまれるような事業が展開できればと考えている。

(企画部長)

特産物戦略

柿パスタ

Q 市特産物について産学官のコラボ商品柿パスタの展望は。

A 市内商業施設に置いていただき販売していただけないか、また、飲食店でメニューとして出す1つの材料として活用できないかとお話をしている。さらに、様々なイベントで瑞穂市ブースを置かせていただき、富有柿発祥の地というPRも兼ねて販売を行っていきたい。

(企画部長)



新型コロナウイルスワクチン接種の今後の考え方は



健康福祉部長

集団接種の後、個別接種、施設接種など、多くの接種機会を設ける方向で考えている



広瀬武雄議員

Q プロジェクトチームが設置されたが、その目的と内容は。

A いかにもスムーズに接種を行うかというところに主眼を置いた。現在は、高齢者の方が集団会場で接種いただくための方策を練っている。

(健康福祉部長)

公立小学校1学級35人以下の導入
現在の当市の小学校の学級編成は。

A 国の学級編成基準は、小学1年生は35人、その他の学年は40人となっているが、岐阜県は小学2、3年生及び中学1年生においても、35人学級となっており、県独自に教員を配置し35人学級を達成している。

(教育長)

Q 小学6年生まで、5年かけて35人学級にする場合の問題点や課題は。

A 教員や教室数の問題は対応できると考えている。財政面として、教室が1つ増えれば、教壇や電子黒板、タブレット保管庫等が必要になるた



め、財政措置が必要だと考えている。(教育長)

教科担任制の導入
Q 導入時期が近づいているがメリットは何か。

A メリットの1つ目は、専門性が高い教師が教科指導を行うことで、質の高い授業になる可能性が高い。2つ目は、専門の教師を学級担任以外で採用できるなら、担任の負担軽減につながり、子どもに向き合う時間が増えることが期待できる。3つ目は、教科担任制にすることで、学級を見る目が複数になり、子どもをより理解できる方向につながるのではないかと考える。(教育長)



広域連携を踏まえた新たな都市計画マスタープランの見直しは



都市整備部長

市の土地利用・道路ネットワークに影響を及ぼす場合、必要に応じて随時改訂を行う



森 清一議員

Q 路線バス安八穂積線における現状と地域連携での利用率向上対策は。

A 30年度は2万4224人、元年度は2万9034人と順調に推移していたが、2年度はコロナの影響で減少している。利用状況の把握や市民ニーズの蓄積をし、路線再編に反映することが大事だと考えている。

(企画部長)

Q 広域的な道路網整備、例えば本巣市の西部連絡道を南下し、美江寺西結線につなぐ南北直結道路など、近隣市町との連携を図る広域道路網整備計画協議会なるものがあってもいいのでは。

A 各市町が管理する道路については、それぞれの行政区域単位での道路整備計画が策定され、道路整備が進められている。個別の道路網計画を持ち寄って、行政境でのお互いの道路のアクセス等について包括的に協議する場については持ち合わせていない。

(都市整備部長)



道路・交通網「都市計画マスタープラン」より

災害時に対応できる防火水利
Q 当市の防火水利は。

A 消防水利の基準を満たす基準内消火栓、特殊防火井戸、防火水槽や耐震性貯水槽等が整備されている。また、市内中学校10か所のプールを指定水利としている。

(企画部長)

Q 地震時、狭あい地で断水により消火栓が使用不能の場合の初期消火対応は。

A 消火器が置いている場所をご近所でお話していただき、いざというときに使用させてもらうような共同活動をしていただければと思っています。

(企画部長)

Q

コロナワクチン接種を受ける方の個人情報保護対策は

A

健康福祉部長

個人情報保護については、接種を希望しない方も含め、徹底した管理を行う



松野貴志議員

Q 未接種及び順番待ちの確認作業についての対策は。

A 接種台帳システムで、未接種の方の確認ができる。接種の順番待ちについては、4月中旬に975人分が来るという供給状況の情報しかない。安定供給の目途がなければ、まずは高齢者の接種について、日程の地区割りを考えている。

Q 接種会場で緊急事態が発生した場合は。

A 万が一、1会場でクラスターが発生した場合は、保健所の指導を仰ぎつつ、当該会場での接種を一旦直ちに中止し、施設管理者の協力の下で、施設内全てを使用禁止にし、関係者にPCR検査を行うなど感染拡大防止に全力を挙げている。

Q 当日予約者が接種できない場合の対策は。

A 医療従事者と高齢者を並列で接種する期間が出てくるが、医療従事者



▲ワクチン接種模擬訓練の様子

分と高齢者分分のワクチンを混同させることはできないとされている。もし、高齢者の方でキャンセルが出た場合は、高齢者の中から予約を繰り上げて打ってもらうことや、高齢者施設の従事者等に打っていただくことを考えている。

Q 接種済みの方を対象に、経済対策としてサービスマネジメントを考えているのか。

A ワクチン接種をした、していないという情報が公に知られてしまうという問題もあり、現在のところ、接種済証を使ったサービスマネジメントの計画は考えていない。

(企画部長)

Q

介護施設などでのコロナ感染拡大防止にPCR検査の定期的な実施を

A

健康福祉部長

県と協力して進めていく準備をしたい



関谷守彦議員

Q コロナ禍で困窮する子育て世代への支援策は。

A 就学援助等を支給するに当たり、対象者が限られてくるようなことがあった。見直しを行い、範囲を広げて就学援助が出せるように検討している。

(教育次長)

Q 高齢者が生活しやすいまちづくり

Q みずほバス停留所における高齢者の安全確保を。

A 歩行者が安全に歩道を通行できるように縁石を設置しており、そのような場所にバス停を置いてある。バス会社の方には、高齢者の方が待つている場合は、できるだけ時間をかけて待機してほしいという話もしており、連携しながら対応していきたい。

(企画部長)

Q 歩道と車道の段差を解消し、押し車が通りやすいように改善できないか。

A 視覚障がいのある方

で、杖を持って安全に行方を誘導することを考慮し、歩道のある車道交差点部の歩道と車道の段差は2cmを標準とすることが定められている。そのため、市では、基準内の段差については、修繕等の対応は行わない考えである。

(都市整備部長)

Q みずほバス馬場十七条線の路線変更を検討し、岐阜へのアクセス改善を行えないか。

A みずほバスは、穂積駅へ繋ぐ速達性が求められている。レスポンスが良いものになると、どうしてもデマンド交通になってくる。当市の高齢者タクシー利用助成事業はその役割を果たすものと思っている。みずほバスについては、利用しやすいような機会を創出し、情報発信を行い、利用アップを図っていきたい。

(企画部長)





J R穂積駅圏域拠点化構想推進事業はどのように進んでいくのか



J R穂積駅の南と北で区分し、令和4年度から駅南の整備に着手していく



広瀬守克議員

Q 瑞穂市及び圏域市町15万人の玄関口にふさわしい利便性・快適性を備えた魅力的な都市空間を創出するJR穂積駅周辺整備は構想どおり進めていけるのか。

A 事業費を含む計画検討については、様々なシミュレーション等を行っており、できるだけ国の補助金等を活用できるよう検討を進めている。一例として、JAぎふ穂積支店の土地を含む駅南口周辺の約2haの区域で土地区画整理事業を想定すると、都市計画決定を前提とした場合、総事業費が約27億円。その一部が補助対象事業となり、国の補助は約2分の1となる。また、市が負担すべき起債に対しても手当てがなされる。(調整監)



▲ワクチン接種模擬訓練の様子

Q 足の不自由な人、家庭の事情で接種場所まで来られない人への対応策は。
A 現行の高齢者タクシーチケット助成制度の利用者の方に集団会場往復の専用チケット(上限あり)の配付を検討している。(健康福祉部長)



農振除外適合基準見直しによる、西・中小校区の農振除外面積は



住宅用地とする農用地面積は、西小学校区で8ha、中小小学校区で3ha



杉原克巳議員

Q 農振除外算出の根拠は。
A 平成22年度から10年間で、西小学校区で320人、中小小学校区で120人の人口減少となっている。10年前に戻す意味合いで、住居系用途の適正規模、1ha当たり40人で割り戻した面積を容認した。ただし、美江寺に約2haの農振白地の未利用地があるため、3haのうち2haは当該農振白地の代替え地となる。

Q 今回の適用基準追加内容は。
A 既存集落及びその周辺で農地の集積・集約化に支障を及ぼさないと認められる区域で、道路、河川、水路及び宅地に囲まれた区域内にて一定の面積を許容することについて、市内の農振地区(産業建設委員会協議会資料より)



Q 令和4年度から教科担任制導入における課題と対策は。
A 学級担任以外に専門教科を教える教員が必要になる。必要な教員数の配当要求を県教育委員会に出すが、学年や教科で時間数が違うため、慎重に検討して進めていかなくてはならず、課題だと考えている。(教育長)

Q 令和3年度から1学級35人以下へ段階的に移行されるが、課題と対策は。
A 令和2年度から5年間のシミュレーションをし、財政面や教室等の確保の見直しを行っている。教室数は問題ないが、教壇や電子黒板等の備品が必要になり、財政措置が必要となる。



コロナ感染予防対策で「みずほバス」に消毒液を設置できないか



企画部長

みずほバス乗車口にプッシュ式ボトルを固定し、消毒液を設置できるよう調整が取れた



松野藤四郎議員

Q 65歳以上の高齢者のワクチン接種は、集団接種会場で、一日に何名の接種が可能か。

A 集団接種会場は2会場あり、1会場当たり医師が2名。また、1会場当たり1日120名の接種を想定している。国は、2回目の接種までを3か月以内で終えるようにという考えなので、これに従ってやっていきたい。(健康福祉部長)



▲「みずほバス」に消毒液設置

組織改革

Q 課単位での業務のため、市役所の相談窓口が分かりづらい。係制にしてはどうか。また、職名についても検討を。

A 以前から、職員からも、係制導入についての

意見が出ている。係制については、プラス面マイナス面、両方出てくると思う。今年の4月から1年かけて、前向きに職員の意見を聞きながら進めていきたい。係がいくつあるのか、また、今の役割についても考えていかなければならず、大きな改革、スケジュールとなると思うので、ご理解いただきたい。(市長)

保育所整備計画

Q 牛牧第一保育所は老朽化している。また、3才未満児の受け入れもできない。今後の計画について見直しはあるか。

A 今までも様々な修繕を行ってきた牛牧第一保育所の整備、保育所がない生津小学校区内の保育所の新設については、どちらでも早急に整備しなければならぬと考えている。現在見直しを行っている瑞穂市保育所整備計画に基づいて、整備の方向性を令和3年度早々に示していきたいと考えている。

(教育次長)



公共下水道事業における今後の財政状況と見込みは



環境水道部長

自治体には優先的に交付金を配分していく方針であると聞いている



藤橋直樹議員

Q 公共下水道事業を進めるにあたり、市長の考えは。

A 企業誘致や有効な土地利用をし、将来、瑞穂市が発展するには、公共下水道事業、インフラ整備は欠かせないものだと思感している。(市長)

Q 新年度の補助金は。

A 令和3年度の下水道に関する社会資本整備総合交付金、防災安全交付金が削減されるという情報は聞いていない。また、近年の岐阜県におけるこれらの交付金は、要望額どおり交付されている。令和3年度についても要望額どおり交付されるかと考えている。

Q 下水道に接続する費用は。

A 必要な費用は、排水設備改造工事費と受益者負担金である。工事費は、各家庭の敷地内の状況によって異なり、個人が下水道排水設備指定工事店に依頼して行う。市指定店によって額が異なるので、数社での相見積



▲(仮)アクアパークみずほ

もりを勧めている。受益者負担金の額は、瑞穂市上下水道事業審議会に諮問を行い、審議していただく予定で、最終的には、供用開始の前年度に条例として決定される予定である。

Q 遅れていても事業を始める目的は。

A 下水道は、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質の保全に資する。下水道整備によって、市街地の汚水を適切に処理することで水環境の向上を図り、雨水を排除し、水害に対して安全で安心なまちづくりの重要な役割を果たす。

(環境水道部長)



小学校35人学級に向けた取り組みは



教育長

県は既に2、3年生も35人学級を導入しており、令和3年度は4年生も35人学級になる



若原達夫議員

Q 令和3年度より35人学級が始まるが、教室の数は足りるのか。

A 5年後までのシミュレーションをしており、学級が増える、現状維持、学級が減る学校があり、5年後トータルすると、市内では令和2年度と比べて1学級減る。教室は、学級数が増える学校でも不足することはないと考えている。

Q 中・西小学校区の児童数・人口が減少傾向にあるが対策は。

A 中・西小学校は、小規模ではあるが、5年後でも150名は確保できると予測している。市の教育委員会等が認定できる小規模特認校という制度がある。まだ児童数は十分であるが、今後も減るようなことがあれば、考えていきたい。

(教育長)

A 中・西小学校区における人口減少は、自治会や地域コミュニティの機能を低下させ、居住者の日常生活への影響が懸念

されるため、農業委員会などと協議を行い、農振除外に係る瑞穂市の適合基準を見直した。

(都市整備部長)

新年度予算

Q 「3つの地方創生の軸」をどのように生かすかはソフト面のセンスに限ると言われているが。

A ソフト事業は、市民の方と一緒にやって事業を進めていく上で、具体的なイメージをどう分かりやすく表現するかが問われる。各課で抱える各種事業のソフトやハードの事業計画を見える形で示し、事業進捗状況についてもお知らせできるよう、インターネット上の情報発信についても積極的に推進していきたいと考えている。

(企画部長)



議会活動日誌

2月

- 1日 もとす広域連合議会（議会運営委員会）
- 3日 議会広報編集委員会
- 4日 西濃環境整備組合議会定例会
- 5日 岐阜県市議会議長会議
- 8日 もとす広域連合議会定例会（初日）
- 9日 もとす広域連合議会（総務介護常任委員会）
- 12日 もとす広域連合議会（療育医療衛生常任委員会）
- 15日 もとす広域連合議会（老人福祉常任委員会）

（議会運営委員会）

- 16日 総務委員会・協議会
- 本巣市議会から視察
- 文教厚生委員会協議会

- 17日 議会運営委員会
- 全員協議会
- 議会基本条例推進特別委員会

- 18日 もとす広域連合議会定例会（最終日）
- 24日 令和3年第1回瑞穂市議会定例会（初日）
- 会派別議案説明会
- 25日 会派別議案説明会

3月

- 2日 議会運営委員会
- 3日 令和3年第1回瑞穂市議会定例会（総括質疑）
- 議会基本条例推進特別委員会
- 4日 産業建設委員会・協議会

- 5日 文教厚生委員会・協議会
- 8日 総務委員会・協議会
- 10日 令和3年第1回瑞穂市議会定例会（一般質問）
- 11日 令和3年第1回瑞穂市議会定例会（一般質問）
- 議会運営委員会
- 12日 令和3年第1回瑞穂市議会定例会（一般質問）
- 全員協議会
- 15日 総務委員会
- 16日 令和3年第1回瑞穂市議会定例会（最終日）
- 全員協議会
- 17日 議会広報編集委員会
- 23日 議会運営委員会
- 29日 岐阜地域児童発達支援センター組合議会定例会

4月

- 13日 議会運営委員会
- 全員協議会
- 意見交換・情報発信検討部会
- 15日 議会広報編集委員会
- 20日 令和3年第2回瑞穂市議会臨時会
- 全員協議会
- 研修・予算決算検討部会
- 22日 東海市議会議長会定期総会
- 26日 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 28日 議会広報編集委員会
- 30日 産業建設委員会協議会



～新型コロナ感染拡大防止～ ワクチン接種、始まっています!!

新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者を減らし、感染拡大を防止させることを目的として、全国民を対象としたワクチン接種が始まっています。

市では、3回にわたって模擬訓練を実施し、ワクチン接種の準備体制を整えてきました。



▶第2回模擬訓練の様子



▲予診票確認



▲医師による予診

今回、議会広報編集委員会で表紙の撮影をさせていただいた4月20日には、総合センターにおいて34名の医療従事者の方が接種を受けられました。

現在、65歳以上の高齢者向けの接種が始まっています。最新の情報や今後のスケジュール等については、市のホームページや広報みずほまでご確認ください。



令和3年第2回定例会日程（予定）

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			本会議（初日・議案提案説明）			
6	7	8	9	10	11	12
					本会議（総括質疑・委員会付託）	
13	14	15	16	17	18	19
	産業建設委員会	文教厚生委員会	総務委員会	委員会予備日		
20	21	22	23	24	25	26
	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問予備日）		本会議（最終日・委員長報告・質疑・討論・採決）	
27	28	29	30			

※日程は、変更になる場合があります。HPをご覧ください。

編集後記

「みずほ市議会だより」をお読みいただき、ありがとうございます。

コロナ禍の一年、市民の皆様に興味をもってお読みいただけるよう、表紙・裏表紙のリニューアル、見える化を図るため、写真の取り入れやレイアウト等にも工夫を凝らした紙面作りに努めてまいりました。いかがでしたでしょうか。

本号をもちまして、現広報編集委員は任期を終え、次回からは次の広報委員に引き継ぎます。

議員一同、引き続き議会の諸改革に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

議会広報編集委員会
委員長 馬淵ひろし
副委員長 森 清一
委員 森 健治
委員 広瀬守克

